

輸出特化型マグロ関連産業の諸問題-フィリピンとインドネシアを事例として

〔概要〕

フィリピン・ゼネラルサントス市で発達したカツオ・マグロ産業を例に、輸出特化型産業の生成過程と現状の産業構造について報告。1960年代、マグロ缶詰原料を求めて来比した米国資本によって資源開発されたが、担い手は次第に現地資本に置き換わり、漁獲—加工—輸出（欧米向け）を一環して手がける垂直統合型企業が出現した。その過程で獲れ始めた刺身用キハダマグロを、副産物として漁獲—加工—輸出（日本向け）するようになった。